

〔一般社団法人 東京臨床糖尿病医会 第163回例会〕

■開催日時:2019年4月20日(土)午後3時30分～午後7時5分まで

■会場:砂防会館(別館) 住所:東京都千代田区平河町2-7-5 電話03-3261-8386

■交通機関:地下鉄「永田町」駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)4番出口より徒歩約1分

●テーマ:CGMでこう変わる～糖尿病治療の新時代の幕開け

◆開催あいさつ 理事長(会長):本田正志 (15:30～15:35=05)

◆司会:伊藤景樹(伊藤内科小児科クリニック)

第1演題 『リブレを用いた栄養指導の実際』 (15:35～15:55=20)

講師:布川ゆかり先生(高村内科クリニック 管理栄養士)

要旨 リブレのデータを用いて栄養指導することにおけるポイントや工夫について症例を提示しながら報告します。

質疑応答 (15:55:16:00=05)

第2演題 『FGM(リブレ)の特性と糖の流れの見える化がもたらしたもの』 (16:00～16:45=45)

講師:植木彬夫先生(高村内科クリニック 医師)

要旨 持続的皮下組織グルコース測定機器であるリブレは非観血的に随時に何度でも患者自身がリアルタイムで自己のグルコース値を知ることができる。このことは患者行動変容を容易にし、また食事に対する新たな知見を見いだしてきている。

質疑応答 (16:45:16:55=10)

-----コーヒータイム (16:55～17:10=15分) -----

第3演題 『私はリブレをこう使っている』 (17:10～17:55=45)

講師:釣谷大輔先生(浜松医科大学 第二内科 内分泌代謝科 診療助教)

要旨 リブレの登場で手軽に血糖変動の把握が可能となった。1型では「見える化」により劇的な血糖値の改善、2型ではHbA1c高値だが入院しない患者の初期治療評価に有用であったなどの経験についてお話する。

質疑応答 (17:55～18:05=10)

第4演題 『CGMの現在と未来』 (18:05～18:50=45)

講師:西村理明先生(東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授)

要旨 近年の、持続血糖モニター(CGM)機器の進歩にはめざましいものがある。簡易型CGMとも呼べるFreestyleリブレシリーズ(リブレプロとリブレ)が使用可能となり、本格的なリアルタイムCGM機器であるGuardian ConnectそしてDexcom G4も我が国で承認され、2018年末に保険点数が確定した。これらの機器の進歩が、究極の血糖コントロールをもたらすのではないかと信じている。

質疑応答 (18:50～19:00=10)

◆次回例会の案内(164回特別例会)のお知らせ 本田正志先生(西川クリニック 足立区) (19:00～19:05=05)

★平成30年度「会計報告」(会計担当:伊藤景樹先生)

共催:一般社団法人 東京臨床糖尿病医会・ノボ ノルディスク ファーマ(株)

後援:一般社団法人 日本糖尿病学会関東甲信越支部